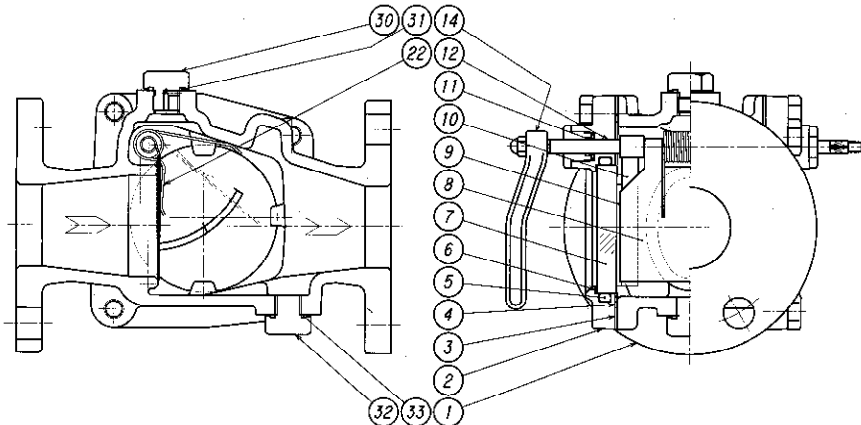


TYPE: - F0

ワイパー内蔵 CLEAR FLOW GAGE

OPERATION MANUAL

※SO(ボネ込み)型にも適用



部品表			
符号	部品	数	備考
1	ボデー	1	
2	カバー	2	
3	ガスケット	2	
4	Oリング	2	
5	Oリング	2	
6	クッションガスケット	2	
7	サイトグラス	2	
8	フラッパー	1	
9	ブラシ	2	
10	ブラシホルダー	2	
11	Oリング	2	
12	スピンドル	1	
13	---	---	
14	ハンドル	1	
22	スプリング	1式	
30	プラグ	1	
31	Oリング	1	
32	ドレンプラグ	1	
33	Oリング	1	

※材質は納入図面を御参照下さい
※22スプリングは、無い場合があります

構造:

フラッパー開度とサイトグラス目盛りより流量ならびに流体の確認が可能です。
本体内蔵のワイパーブラシを御使用いただくことで、

1. サイトグラスに付着した水垢ならび汚れの除去
2. フラッパーならびスピンドルの固着防止
3. フラッパー周辺部のゴミ等の付着防止

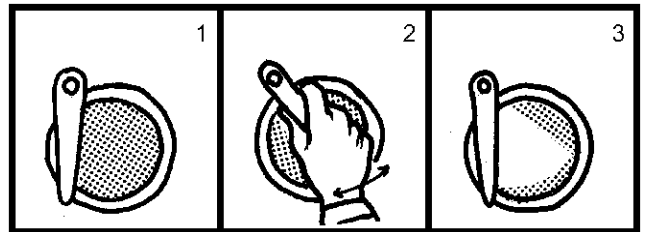
等が可能であり、ワイパーブラシ機構の利用度は高いものがあります。

ワイパー操作:

⑦サイトグラスに水垢等の汚れが付いた時、⑧フラッパーの動作が正常か確認する時に、ワイパーハンドルを数回回転して下さい。
著しく汚れる前に、定期的にご実施していただくことが有効です。
※ワイパー操作では、⑨プラグが⑧フラッパーを押上げますので、ワイパー操作後はプラグを0目盛り以下に必ず戻して下さい。

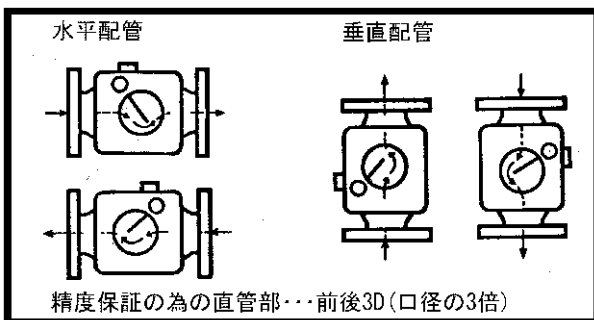
管接続時の確認:

1. 水平方向に取付ける場合、本体が傾かないように取付けて下さい。
2. 配管規格・サイズが違っているものを、無理に接続しないで下さい。
3. 配管ストスが本体に直接かからないように注意して下さい。

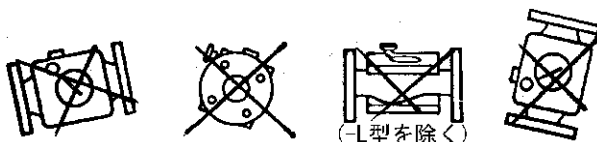


取付リスト:

正しい姿勢に取付けて下さい



間違った取付けは、故障の原因となります



空気抜きプラグ操作:

水平配管に取付ける場合は、本体中央部に空気が溜まることがあります。
流量指示精度を確保するために、プラグを緩めて空気を抜いて下さい。

ボデーの分解掃除:

ワイパー操作で除去出来ない汚れや異物が混入した時には、下記の要領で分解掃除を実施して下さい。

1. 分解中に流体が流入しないように、一次側ならび二次側を閉止して下さい。
2. ブラシハンドルのナットを緩めて、⑭ハンドルを⑫スピンドルから外して下さい。
3. ①ボデーと②カバーを留めている締付ボルトを緩めて抜き取って下さい。
4. ⑫スピンドルが①ボデー側に残るように、②カバーを引離して下さい。
※ この時、⑦サイトグラスは②カバーと一体になっています
5. ⑧フラッパー-⑫スピンドルならび・スプリングを引抜いて内部を掃除して下さい。
※ フラッパー部を引抜く時は、スプリングを丁寧に扱って下さい、スプリングの変形は流量指示のズリにつながります。

以上で分解掃除は完了です、組立は分解順序の逆に行って下さい。

※ 分解掃除を実施する時は、併せて③ガスケット④Oリングならび⑩Oリングの交換も併せてお願い致します(パッキン類の再利用は、漏れにつながる恐れがあります)。

・ TAIYO VALVE MFG. CO., LTD.